

邦枝 完二(くにえだ かんじ)

資 料

短冊 『逢うに馴れて 虫きく夜や すて扇 双竹亭』

\* 双竹亭は邦枝完二の号。

作 者

1892(明治25). 12. 28－1956(昭和31). 8. 2

東京市麴町区(東京都千代田区)生まれ。

永井荷風に師事して文学作品を発表する。時事新報社、帝劇文芸部に勤めた後文筆活動に専念する。官能的で江戸情緒あふれる作品を書いて流行作家となる。昭和15年、藤沢市鵜沼に転居する。

参考文献

- 『おせん 限定版』(邦枝完二／著 三福紙工 1949. 4  
[県立 913. 6／2326(21572367)])  
『小説子規』(邦枝完二／著 六興出版社 1951. 5  
[県立 913. 6／2758(21961958)])  
『大衆文学大系(13)』(邦枝完二／著 講談社 1972  
[県立 F1／T84-1／13(12217493)])

